



RBC BlueBay
Asset Management

診断ラボの内部： グローバル株式投資家の一日



ベン・ヨー
シニア・ポートフォリオ・マネジャー兼
ヘルスケアセクター・スペシャリスト

2026年3月

「文化と人材は、外部から『コモディティ化』しているように見える企業においては、多くの人々が認識している以上に重要です。」

1日10万件の検体処理の実態とは...

最近、米国のある企業の検体診断ラボを見学しました。決算説明会では「自動化」や「大規模な中央ラボ」が頻繁に使われるキーワードとなっていることから、高度なロジスティクスとロボティクスの運営拠点である15万平方フィートに及ぶ広大な施設内部を見学することは非常に興味深いことでした。この施設は、24時間365日稼働しており、毎日10万件以上の検体を処理しています。

ポイント:

- ラボは、模倣することが非常に困難な規模と複雑さを有しています。
- 「自動化」は実際に中核的な業務の流れに組み込まれており、単なるマーケティング用語にとどまっています。
- 文化と人材は、外部から「コモディティ化」しているように見える企業においては、多くの人が認識している以上に重要です。

物理的な規模と設置面積

ラボは非常に広大なため、訪問者が迷わないようにドローン撮影の映像が見せられます。それは、塗料工場を改装して設置されたものですが、7年間の設備拡張プロジェクトの一環として、真新しい増築部分と別棟の倉庫が追加されています。

同社は広域にサービスを提供しており、医師や博士号取得者を含む800人以上を雇用しています。サービスは定期的な血液検査から、専門的な腫瘍や感染症の検査まで多岐にわたります。

この施設は、標準的な州の認証に加えて、ラボの品質システムにおいては、任意ですがより高い基準であるISO15189認定も取得しています。これは単なる規制上の飾りではなく、大量処理プロセスにおける規律の一環となっています。

さらに、約700人の配送スタッフがラボを支えており、地域全体で毎日30万件の集荷を行っています。また、600カ所の患者サービスセンターがあり、検体は、そこから小規模な「ランチラボ」を通じて集約され、その後夜間にメインラボに送られます。

投資家として、これが規模の勝負であることは明らかです。実際の仕組みを見ることで、それが具体的に理解できました。



検体がシステム内をどのように移動するか

ラボ内を歩きながら、患者の血液検体が採取から検査結果、保管までどのように移動するかを観察しました。特に興味深かったのは、新しく到着した検体がベルトコンベアに降ろされ、自動装填装置に投入される様子でした。ここでラボの洗練された技術力が発揮されます。技術者が各検体を取り扱うのではなく、自動化システムが引き継ぎます。検体は、免疫測定法、甲状腺、腫瘍マーカーなど、さまざまな種類の検査用に小分けされます。システムは各検体の使用量と残量を追跡します。

仕分けが完了すると、機器にセットするための検体ラックが、ラボ内のさまざまなエリアに送られ、機械が検査を実施します。ほとんどの患者の場合、検査結果は人手を介さずに、これらの機械からコンピューター、そして病院やクリニックへと直接送られます。

ラボはこのプロセスを24時間稼働させており、スタッフの約40%が夜勤で働いています。ランチからの配送が到着する時間帯であることから、夜間が最も処理する量が多い時間帯となっています。

ここに規模の経済性が現れます。一度、固定費をかけてインフラが整備されれば、既存の検体に対する「次の検査」は極めて高い利益率をもたらします。

より良い成果の実現

自動化と規模は、単に多くの検体を処理する以上のメリットをもたらします。検体は体系的に取り扱われ、機械が分割と配送を行うため、人的ミスが減少します。検体のラベル付けミスもなくなります。容量測定ミスも排除されます。

検体の紛失や事故などのエラーやインシデントの指標は注意深く追跡されており、時間の経過とともにデータは有意な改善を示してきました。これは、より多くの手作業がありエラーが生じる余地が大きく、自動化の程度も低く、スタッフがより汎用的な役割を担う傾向にある小規模な病院ラボとは対照的です。このラボでは、固定費は高いものの追加検査あたりの限界費用は非常に低く、エラー率も低くなっています。

これが実質的な競争優位性を生み出し、事業を競争から守る堀の主要部分を構成しています。低いエラー率と迅速な処理は、経済的にもメリットをもたらします。

文化と労働力: ロボットによる作業だけではない

ここからが興味深い話です。「自動化」とは、ラボの人を機械に置き換えることを意味すると思われるかもしれませんが、そういうことではありません。800人が雇用されているのは、まだ多くの仕事があるからです。ただし、異なる種類の仕事です。

実際、米国全体で検査技師が不足しているため、このラボは研修に投資しています。地域の大学および教育機関と連携して人材の供給源を構築し、独自の研修プログラムを運営しています。

重要なことは、経営陣が、24時間365日稼働することにおける文化について深く考慮していることです。ここでは、専門的な役割分担がなされ、ワークライフの柔軟性が重視されています。従業員同士のグループや文化イベントも存在しています。同社の離職率は業界平均を下回っていると報告されており、これは広範な人材確保の課題に直面している業界において重要な意味を持ちます。

経営陣の哲学は明確です。それは、反復的で不快な低スキルの作業を自動化し、人材を課題への対応、品質管理、判断を要する複雑な分野など、より付加価値の高い業務に移行させることです。人を置き換えるのではなく、機械が単調な作業を処理している間に、同社の従業員がより興味深い仕事を行えるようにすることなのです。



ラボで最先端の科学、技術、イノベーションを学ぶ

「次世代型」ラボテクノロジー

見学したのはベルトコンベアだけではありません。「次の段階」の技術が目に見えており、それは、AI支援によるスライド読影、あるいは、ソフトウェアや意思決定サポートの利用拡大として確認することができました。これらは、電子カルテから臨床データを取得し、併存疾患やガイドラインに基づいた検査の提案を行い、また、医師が検査の過不足を避けることを支援します。

繰り返しになりますが、これは単なる最先端の技術ではありません。検体あたりの検査数を増やし（同じ患者に対してより豊富なメニューを提供できる）、病院システムとの統合を固定化するものとなっており、それが、このラボを唯一の存在にしています。

投資家にとってのポイント

今回の訪問についての見解:

- **規模は真の競争優位性を生み出します:** 処理容量、自動化、ロジスティクスの組み合わせは容易にまねできません。一旦、インフラが整備されれば、追加検査ごとに経済的メリットが得られます。
- **自動化は人員削減よりも品質と処理能力を目的としたものです:** 低いエラー率、迅速な結果、そして従業員をあまり追加せずに成長できる能力が、利益率向上の源泉となります。
- **検査回数がラボの運営方法に表れています:** 作業工程は同じ検体から追加検査を簡単に行えるように整えられています（例：脂質検査の患者がapoB検査、Lp(a)検査、追加マーカー検査を追加するなど）。「受付あたりの検査数」という視点で運営されています。

- **人材と文化が極めて重要です:** この種の事業を構築することは、単に機器を設置することではありません。思慮深いマネジメントとキャリア開発を通じて、24時間365日稼働の困難な環境において熟練した検査技師を維持し続けることも必要不可欠です。

四半期決算の説明資料を読めば、それで事業の詳細が分かるように思えるかもしれませんが、しかし、ラボ内を見学すると、運営モデル、つまり規模、自動化、そしてそこで協力して働いている従業員こそが、実際の企業戦略ということが分かります。

ブルーベイ・アセット・マネジメント・インターナショナル・リミテッド

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1029号

一般社団法人 日本投資顧問業協会会員、一般社団法人 投資信託協会会員、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会会員

当資料は、RBC Global Asset Managementの一部であるRBC Global Asset Management (UK) Limitedによって作成されたものです。当資料は受領者への情報提供のみを目的としています。当資料の全部または一部を複製することはできません。また、RBC Global Asset Managementの同意なしに再配布することもできません。当資料は、証券またはその他の金融商品の売買または投資戦略を勧誘するものではなく、税務または法律上の助言として解釈されるべきではありません。ここに記載されているすべての製品、サービス、または投資がすべての法域で利用できるわけではなく、地域の規制および法的要件により、一部は限定的にのみ利用できます。

過去の実績は将来の結果を示すものではありません。このレポートに含まれる情報は、RBC Global Asset Managementおよび/またはその関連会社によって、信頼できると思われる情報源から編集されていますが、その正確性について保証するものではありません。すべての投資で、投資額の全部または一部が失われるリスクがあります。

この資料には、RBC Global Asset Managementの現在の意見が含まれており、特定のセキュリティ、戦略、または投資商品の推奨を意図したものではなく、またそのように解釈されるべきではありません。特に明記されていない限り、ここに記載されているすべての情報と意見はこの資料の日付時点のものであり、予告なしに変更される場合があります。

RBC Global Asset Management (RBC GAM) は、カナダロイヤル銀行 (Royal Bank of Canada (RBC)) の資産運用部門であり、RBC Global Asset Management (U.S.) Inc. (RBC GAM-US)、RBC Global Asset Management Inc.(RBC GAM Inc.)、RBC Global Asset Management (UK) Limited (RBC GAM – UK)、RBC Global Asset Management (Asia) Limited (RBC GAM – Asia)、および RBC Indigo Asset Management Inc.を含みます。これらは、別会社ですがRBCの関連法人です。

RBC Global Asset Management (UK) Limitedは、英国金融行動監視機構 (FCA) によって認可および規制されています。

®/™ Trademark(s) of Royal Bank of Canada.



RBC BlueBay
Asset Management

■手数料等

当社の提供する投資一任業に関してご負担いただく主な手数料や費用等は以下ようになります。手数料・費用等はお客様の特性、委託された運用金額や運用戦略、運用状況、あるいは当社に係る業務負担等により、下記料率を上回る、又は下回る場合があります。最終的な料率・計算方法等は、お客様との個別協議により別途定めることとなります。

(年率、税抜き)	債券戦略				株式戦略
	ベンチマーク戦略	トータル・リターン戦略	絶対リターン戦略	プライベート戦略	
運用管理報酬 (上限)	0.70%	1.30%	1.30%	1.55%	1.00%
成功報酬 (上限)	-	20.00%	20.00%	20.00%	-

なお、当社との投資一任契約は、原則、運用戦略に応じた外国籍投資信託を投資対象とします。上記手数料には、お客様から直接当社にお支払いいただく投資顧問報酬、外国籍投資信託に対して投資した資産から控除される運用報酬が含まれます。

この他、管理報酬その他信託事務に関する費用等が投資先外国籍投資信託において発生しますが、お客様に委託された運用金額や運用戦略ごとに、あるいは運用状況等により変動いたしますので、その料率ならびに上限を表示することができません。手数料や費用等について詳しくは、弊社担当者にお問い合わせをいただくか、契約締結前交付書面又は目論見書等の内容を十分にご確認ください。

■投資一任契約に関するリスク

投資一任契約に基づく契約資産の運用は、原則、戦略に応じた外国籍投資信託を通じて、実質的に海外の公社債、株式等の有価証券や通貨などの価格変動性のある資産に投資を行います。これら有価証券等には主に以下のリスクがあり、株式相場、金利、為替等の変動による価格変動、及び有価証券の発行会社の財務状況の悪化等による価格の下落により、外国籍投資信託等の基準価額が下落し、損失を被ることがあります。従って契約資産は保証されるものではなく、お客様の投資された元本を割り込むことがあります。また、デリバティブ取引等が用いられる場合においては、上記の価格変動等により、元本超過損が生じる可能性があります。運用による損益は全てお客様に帰属いたします。

価格変動リスク：有価証券の価格変動に伴って損失が発生するリスク

為替変動リスク：外国為替相場の変動に伴って損失が発生するリスク

信用リスク：発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに対する外部評価の変化等により損失が発生するリスク

流動性リスク：市場の混乱等により取引ができず、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失が発生するリスク

カントリーリスク：投資対象国／地域の政治・経済、投資規制、通貨規制等の変化により損失が発生するリスク

なお、契約資産が持つリスクは上記に限定されるものではございませんのでご注意ください。リスクに関する詳細につきましては契約締結前交付書面又は目論見書等の内容を十分にご確認ください。

本資料は受領者への情報提供のみを目的としており、特定の運用商品やサービスの提供、勧誘、推奨を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

本資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、当社がその正確性、完全性、妥当性を保証するものではありません。記載された内容は、別途記載のない限り資料作成時点のものであり、今後予告なく変更される可能性があります。過去の実績及びシミュレーション結果は、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。なお、当社の書面による事前の許可なく、本資料およびその一部を複製・転用・ならびに配布することはご遠慮下さい。当社と金融商品取引契約の締結に至る場合には、別途契約締結前交付書面等をお渡ししますので、当該書面等の内容を十分にお読みいただき、必要に応じて専門家にご相談の上、お客様ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

以上

